

アパレル販売職の転職



この記事を読んでいる方は、アパレルの仕事続けるか悩んでいらっしゃると思います。アパレルのお仕事は、素敵なお洋服に囲まれて、お客様に喜んでもらえて、とっても魅力的でやりがいのある仕事です。ただ、どうしても辞めたいと思ってしまう時があると思います。私もアパレル会社の販売職を、約10年間していたのですが、何度も辞めたいと思ったことがありました。今は転職をして企業の事務職をしています。アパレルの仕事をしているときに、辞めたいと思っている人、実際にやめた人など、いろいろな人を見てきました。この記事では、そういった経験をもとに、今悩んでいるあなたに、アパレルの仕事続けるべきか、私の経験をもとにしてお話ししていきたいと思います。ぜひご参考にしてみてください。

転職のきっかけは？アパレルを辞めたくなった理由



立ち仕事で足がむくんだり、不規則なシフト勤務が肌荒れの原因になる。

アパレルといえば、トレンドの素敵なお洋服や雑貨に囲まれて、キラキラした世界を夢見て選んだ方も多いのではないのでしょうか？

ただ、実際は、1日に立ち仕事をして足は痛くて、むくんでパンパンになります。さらに、不規則なシフト勤務でお肌も荒れてしまったり、人前に立つ仕事なのに、ストレスが増えていって気持ちに余裕がなくなります。おしゃれに働けるのを期待していたのに、そのギャップに辛くなりますよね。私も1日中ヒールで仕事をしていましたが、足が痛いのを我慢して仕事をしていたら、仕事終わりには足の感覚がなくなっていたこともありました。

お客様から常に見られているプレッシャーがある。

アパレルの販売職の場合、主にお客様を接する機会が多くて、人と話すのが好きだし、楽しいと感じている方は多いと思います。

ただ、楽しくお話しできるお客様だけではなくて、最初からスタッフを避けて話を聞いてくれなかったり、お話が噛み合わなかったり、少しのことからクレームにつながってしまうこともあります。また、お客様は思った以上にスタッフを見ています。待機時にスタッフが笑顔でないことがクレームに繋がることもあったり、店頭にいる時は、常に見られているプレッシャーがあるので、意外とストレスがかかります。

私は、その点で見られるプレッシャーがない事務職への憧れが高まりました。

苦手な人と長い時間話さなくてはいけない。

どこの職場でも言えるかもしれませんが、上司や同僚との人間関係は、やはりネックです。店舗は規模にもよりますが、店舗という閉鎖された空間でのチームなので、人間関係が仕事の大半を占めると言っても過言ではありません。

その日ごとに言うことが変わる上司や、ウマが合わない同僚など、シフト制で苦手な人と2人つきりになってしまう時など、辛い時間を過ごすことになります。苦手な人とも話さなくてはいけない時間が多いというのは、なかなか辛いものですよね。

意外と肉体労働の部分がある。

アパレルのお仕事は、店頭で販売をするだけではありません。新規商品の入荷時には、重たい段ボールを開けて商品を出して、1枚ずつ店頭でキレイに並べる作業がありますが、意外と重労働です。段ボールを入れ替える作業は腰が痛くなり、ハンガーにかけた商品は意外と重たいものです。また、商品の在庫がある場合は、バックヤードに商品を番号順などに並べてしまい込む作業もあります。お店によっては高いところにある棚にしまうのに何回も脚立を使ったりするので、私が勤務している時に一緒に働いていた同僚が、脚立から落ちてけがをしてしまったこともありました。極端な例かもしれませんが、意外と肉体労働な部分があるので、きついなと感じることもあると思います。

アパレルの仕事をいざ初めてみると、いろんなことが分かってきて、辛いと感じることも多いですよ。仕事が楽しいと感じることも多いですが、意外と大変だったということがわかると、もしかしたらもっと楽しい仕事があるかもしれないと、転職をしたくなる気持ちになってきます。実際に私も、座ってできて黙々とできるデスクワークっていいなという憧れがあったので、そういった気持ちになる方も多いのではないのでしょうか？

アパレルから事務職へ転職した理由



新しい仕事にチャレンジしたい。

事務職へ転職した一番大きい理由は、違う世界を知ってみたいだったからです。と言うとなんだか大きい話になってしまいそうですが、私の場合は、約10年販売職をして、なんとなくは販売の仕事をつかっていた部分もあり、将来のことを考えて、事務職でどのくらいできるのかチャレンジしてみたい気持ちもありました。

土日休みへの憧れがあった。

次に、土日休みを経験してみたいからというのがあります。私は学生時代から土日はアルバイトをして、そのまま販売職になったので、土日は休めないのが当たり前で、年末年始もゆっくりできなかったことがなかったので、環境を変えてみたいと思った部分がありました。

将来を考えたときに定時勤務が魅力的に思えた。

また、将来設計を考えたときに、シフト制よりも定時勤務の方が生活がしやすいと考えたこともありました。もちろん、販売職で結婚されて、子供がいてという方はたくさんいるので、両立も可能ではありますが、そうなったときに自分の体調や仕事のスタイルが不安になったという部分がありました。

他にも細かい理由はありましたが、私の場合は販売職が長かったこともあり、他の仕事でも自分のキャリアを積んでみたいという気持ちが強くなり、転職をしたいと考えました。事務職を選んだ理由は、まず全く違う職種でキャリアを積みたいと考えたからですが、今までの経験を活かせていないと感じることも多かったので、まずは経験を活かせる職種へ転職するのも良いかなと感じています。

転職後の率直な感想 -転職して良かった？



転職して良かったこと

- ・シフト制から定時勤務になったことで、生活リズムが安定して、体調を崩さなくなった。
- ・お給料が安定した。
- ・土日祝日休みや、年末年始にゆっくり休めるようになった。

やはり、転職して良かったことは、生活リズムが一定で安定しているのも、夜遅くまで勤務していたころと比べて、体調を崩すことが減りました。私は、22時閉店のお店で働いていたこともあり、家につくのが0時を過ぎることも珍しくなかったのも、特に生活が整った感じがします。また、アパレル販売では店頭にある商品を社販で購入して着用することになっていたのも、毎月の社販代がかさみ、お給料の手取りが少なくなっていました。事務職ではそういったことがないので、お給料が安定しました。さらに、土日や年末年始にゆっくり過ごせるのも、同じ土日休みの友達と遊んだり、家族との時間も持てるようになりました。

転職して悪かったこと

- ・毎日同じ作業で、楽しいと感じることが少なくなった。
- ・座り仕事でも足がむくんだり、PC作業で目や肩が痛くなる。
- ・人と話すことが少なくなり、仕事にやりがいを感じにくくなった。

逆に転職して悪かったことは、仕事内容が事務職になったことで、仕事で扱う内容に変化がなく、楽しいという感じはなくなりました。もちろん新しい仕事をすることもあります。アパレルの時は週に1回新規入荷の商品がきて、キャンペーンがあつて、という感じで、楽しいと感じる瞬間が多かったように感じたので、それと比べると仕事内容は色あせて見えるかもしれません。また、座っていても体が痛くなります。PC作業をしていたら口角が下がっていて不意に見た自分の顔が老けて見えることも...。しかも、アパレルの時とは比べ物にならないくらい人と話さなくなり、お客様と接する機会も減るので、やりがいを感じにくくなりました。

アパレルを辞めて転職してOKな人、NGな人



では、実際にアパレルを辞めて転職をしてOKな人と、NGな人の違いはどこなのでしょう？今は辞めたいという気持ちが大きくなっていても、もしかしたら辞めなきゃよかったと、辞めてから後悔してしまうことがあるかもしれません。ここでは、辞める前にチェックしてほしい項目をまとめましたので、自分に当てはまるか考えながら、読んでみてください。

辞めてはいけない人

- ・アパレルの仕事をして1年未満の人
- ・人と話すのが好きな人
- ・他にやりたい仕事がない人

辞めてはいけない人として、経験が1年未満の人です。アパレルの仕事は、1年続けてほしいと思っているのですが、その理由として、1年の流れを知ることで仕事の良いところや、やりがいを感じてもらいたいからです。各シーズンの移り変わりを感じたり、仕事に慣れてきて楽しいと感じることも増えます。

また、純粋に人と話すのが好きな人は、アパレルの販売に向いている人だと言えます。だからこそ疲れてしまうということもあると思いますが、あなたの強みを活かせる場面が多いと思いますので、ぜひ続けてみることをおすすめします。

最後に、他にやりたい仕事がないけれど辞めたいという人は、まず、なんで辞めたいのかを冷静に考えてみましょう。そして、転職をすれば改善ができると思う場合は、転職して良いと思います。ただ、転職活動では明確にやりたいことがある人が有利です。もう少し頑張れるようだったら、続けながらやりたいことを明確にする機関を設けると良いと思います。

転職していい人

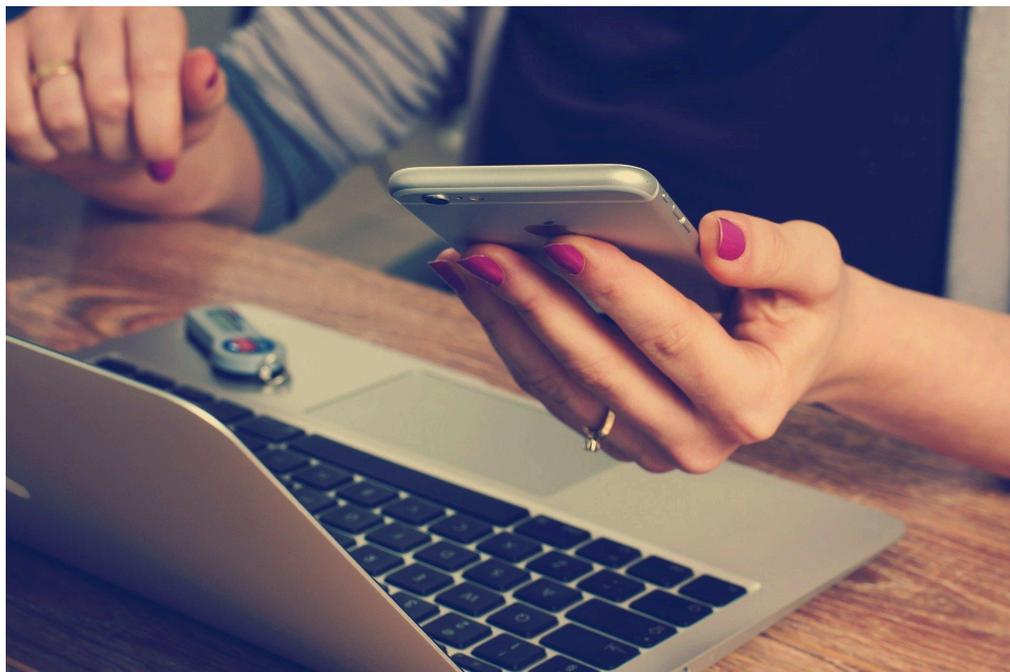
- ・アパレルの仕事をやりきったと思える人
- ・コミュニケーションが苦手だと感じる人
- ・変化が好きではない人

転職していい人としては、まず、アパレルの仕事をやりきったと思える人です。これについては、私は期間は関係ないと思っています。(1年以上は続けると楽しさが分かると思ってはいますが...)自分がアパレルの仕事でやりたいことをやりきったと満足できていれば、経験を活かせる次の仕事へチャレンジしてみしてほしいと思います。

また、接客などでコミュニケーションが苦手だと感じて、気持ちが後ろ向きになってしまっている人は、自分の良さを活かせる仕事へ転職をしていいと思います。コツコツとできる仕事で才能を発揮できるかもしれません。

最後に、アパレルの仕事は、トレンドや現場の販売体制だったりいろんなことが絶えず変化する環境で働くことが多いと思います。そのスピードについていくのが大変だったり、変化がないほうがいいという人は、じっくり腰を据えてできる仕事に転職をした方がよいかもしれません。

アパレルからのおすすめ転職先



コールセンター

アパレルの仕事で培った会話力やコミュニケーション力を活かして、お仕事ができます。

また、お仕事は座り仕事が多いので、立ち仕事だったアパレルのお仕事と比べて、足が痛くなることもありません。(足がむくむ可能性はあります。)

お客様とは電話でのやりとりで、お客様の役に立って感謝してもらえることもあり、やりがいを感じやすいと思います。

職場環境も同世代の女性が多く、また勤務人数も多いため、仲の良い友人が出来たり、楽しくお仕事ができます。

事務職

土日休み、定時勤務が多いので、生活のリズムが安定します。

また、デスクワークでPC作業をすることが多くなると思うので、仕事をするうちに自然とPCの知識が身について、日常にも活かせることがあります。

将来的に転職をするとしても、事務職経験があると、次のキャリアへの転職もしやすく、社会人経験として、事務職の経験があってもマイナスになることはないと思います。

営業職

未経験の人は大変だというイメージがあるかもしれませんが、販売職でお客様対応をしていた仕事の経験を活かして、働くことができます。

また、営業成績によって給与が上がることもあり、販売職と比べて給与が高いことが多いです。職種によっては、営業先がしっかりと決まっていて、先輩のサポート体制があるなど、働きやすい環境があるそうなので、未経験でも安心です。働き始めたら意外と営業に向いていたという人の話もよく聞きますので、気になる方はぜひチャレンジしてみてください。

アパレルからの転職を成功させるポイント



求人サイトに登録する。

まずは、いくつか求人サイトや転職サービスの会社に登録をしてみましょう。そこに自分の経歴や職種を入力して、希望の職種を選択しておくことで、企業の方からスカウトメールが届くこともあります。また転職サービスの会社によっては、無料で担当者が面談をしてくれて、自分にあう仕事を紹介してくれたりしますので、転職をする際は使っては損はないサービスだと思います。

職務経歴書を作る

転職をしたことがない人には、あまり聞いたことのない書類だと思いますが、簡単に言うと、履歴書よりも詳しく、自分の経歴をまとめた書類です。転職活動では、履歴書と、この職務経歴書をセットで提出することが多いので、早めに書いておく方が良いと思います。

職務経歴書のフォーマットや書き方は、各転職サービス会社のサイトで無料で配布されていて、比較的わかりやすいので、それを使うことをおすすめします。

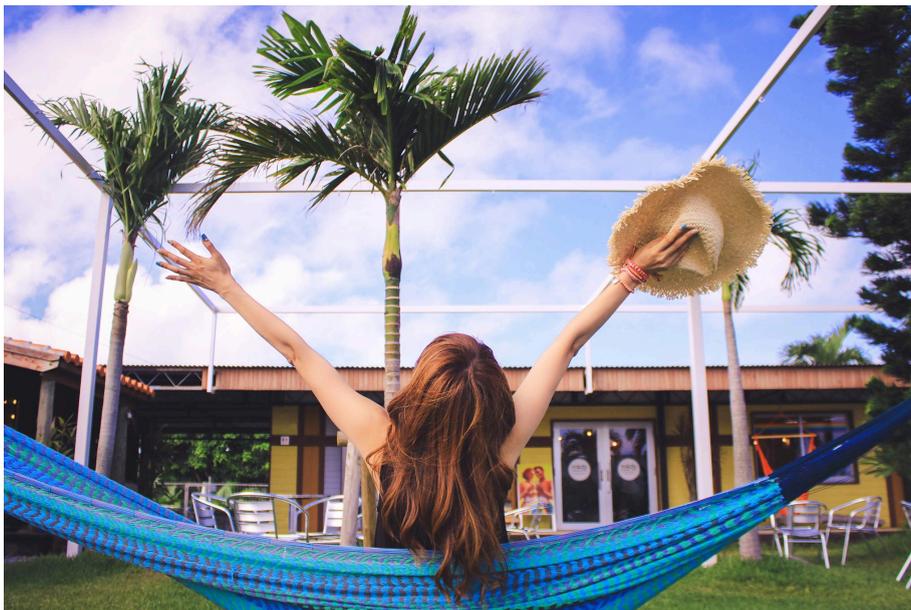
転職したい分野の勉強をする

私の経験談になりますが、アパレルから他の職種に転職をする時に、一番ネックだったのが、経験不足でした。他の分野での知識がなかったからです。

いきなり資格を取るというのもアリだとは思いますが、そこまでではなくても、転職したい分野の概要などを調べて知っておくことだけでも、転職先の会社の印象は変わると思います。また、自分の気持ちの棚卸にもなるかもしれません。

今は、インターネットですぐに調べたいことが調べられるので、少しの時間でも将来の為に行動してみたいと思います。

まとめ



アパレルからの転職についてお伝えしてきましたが、当てはまるものはありましたでしょうか？
今、どうしても辞めたいと思っていたり、いつかは転職したいと思っている人もいますが、一番に考えてほしいのは、あなたの将来です。

転職をして良かった人もいれば、続けて良かった人もいますので、自分が将来どうなっていたかをじっくり考えて結論を出してほしいと思っています。

また、転職をする前に、今できることをしてみましょう。

こうした方が良いかもしれないと思ったらすぐに行動することで、仕事が楽しくなったり、日常が楽しくなることもあります。転職をする前に自分の中で準備をする期間を決めて計画的に動きましょう。

あなたの転職活動が良いものであることを祈っています。